

日中共同研究「中国当代史研究」ワークショップ（上海）報告者募集のお知らせ

中国当代史に関する日中共同研究ワークショップが2017年12月に、上海で開催されることになりました。この共同研究によるワークショップは、第1回（2012年7月上海）、第2回（2013年12月京都）、第3回（2014年12月上海）、第4回（2015年12月京都）、第5回（2016年12月上海）に引き続き、今回が第6回となります。

これまでワークショップでは報告者を公募して参りましたが、第6回の開催にさいしても、若手の報告者を公募することになりました。下記の応募要項を御参照の上、積極的に応募して下さい、お待ちしております。

会の趣旨とこれまでの開催回については、それぞれ第1回ワークショップの説明

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~rcmcc/dangdaishi.htm>

および

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~rcmcc/dangdaishi5.htm>

の関連リンクを参照して下さい。

2017年2月8日

「日中共同研究 中国当代史研究」日本側世話人会（石川禎浩、小野寺史郎、久保亨、中村元哉、村田雄二郎）

記

1. 会議日程・場所：2017年12月2日（土）、3日（日） 上海（華東師範大学）
2. テーマ：「1950-60年代の中国」

3. ワークショップ構想：1950-60年代の中国を中心に、次のようなセッションを設ける予定ですので、それに関連する報告（口頭での報告時間は15-20分、それに引き続きコメント・討論が30分程度）を募集します。

・対外関係（対日、米、ソなど） ・社会主義化をめぐる諸問題 ・文化・思想の「改造」、など

4. 募集人員：2名程度

5. 応募資格：応募時点で、以下のいずれかに相当する方。

(1) 国内の大学や研究機関に所属するPD研究員・非常勤講師等。

(2) 国内の大学や研究機関に在籍する博士課程大学院生。

6. 経費負担：会議期間中の宿泊費（3泊まで）と居住地から上海までの往復交通費は、主催者が負担します。

7. 使用言語：中国語（通訳なし。中国語での報告、討議をお願いします）。

8. 応募期間：2017年4月2日（月）～2017年5月8日（月）（締切厳守）

9. 応募書類：

(1) 氏名、所属、連絡先（メールアドレス、住所、電話番号）

(2) 報告テーマと報告要旨（日本語1200字程度で、主な論点、構成、史料などを説明するもの）

(3) 主要業績一覧（書式随意）

10. 応募方法：応募書類をメールにより世話人会

（村田 murata[at]ask.c.u-tokyo.ac.jp）に送信。

11. 選考方法：世話人会による審査の上、決定。

12. 結果発表：2017年5月末日までにメールで通知。

13. 準備報告：事前に研究会での準備報告をお願いすることがあります。

14. 報告論文：報告論文（中国語）をワークショップ前に提出してもらいます

（中国語換算 1 万字程度〔本文と注を含む〕。2017 年 10 月末提出締切）。

15. 問合せ先：世話人会（村田 murata[at]ask.c.u-tokyo.ac.jp）。

村田雄二郎（東京大学大学院総合文化研究科）